

－無限の可能性への挑戦－

セブン銀行の強み

ポジショニング

3

ユニークな ビジネスモデル



共存共栄のビジネスモデル

ATMをご利用されるお客さまに「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」使えるATMサービスを提供すると同時に、提携金融機関等にもコスト面やサービス面でさまざまなメリットを提供しています。

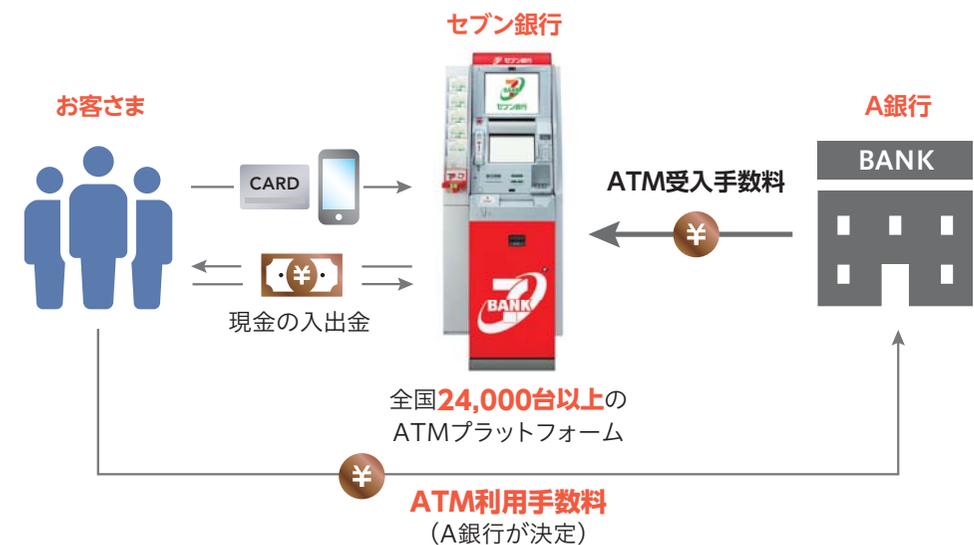
セブン銀行と提携金融機関等は、共存共栄のユニークなビジネスモデルを構築しています。

- ▶ 従来の銀行とは異なる収益構造：提携金融機関等からの手数料が中心
- ▶ 共存共栄のパートナー：
 - 提携金融機関等
 - セブン銀行のビジネスを支える委託先
- ▶ 提携金融機関等数：600社（2018年3月末現在）

経営環境における優位性

- ▶ お客さまとの接点：
全国**24,000**台以上のATMをプラットフォームとして、お客さまとの接点を有する
- ▶ セブン&アイグループが有する集客力や店舗網などのグループ力：
グループ各店舗へ1日当たり約**2,300**万人のお客さまが来店

ATMサービスのビジネスモデル(提携金融機関等が銀行の場合)



セブン銀行の強み 1 セブン銀行の強み 2 セブン銀行の強み 3

セブン銀行の成長ドライバー

時代とともに 変化する マーケットニーズ を捉える

社会課題を事業機会として捉える



デジタル決済の広がり 決済セキュリティの確保

▶ 新たなATM利用スタイルの創造

スマートフォンによる入出金など、お客さまのライフスタイルの変化に合わせた安心・安全なサービスを提供します。



少子高齢化

▶ だれもが利用しやすいユニバーサル対応

セブン銀行ATMは、年齢、国籍、障がいの有無を問わず、だれもが利用しやすいユニバーサルデザインを採用しています。カラーユニバーサルデザインの取得、杖/ドリンクホルダーの設置、音声ガイダンスサービスなど、だれにとっても使いやすいATMを追求しています。また、「森の戦士ポノロン」への協賛や、社会貢献型キャッシュカードの発行など、次世代育成に注力しています。



働き方の多様化

▶ 銀行口座を介さずに現金の受取りが可能

働き方の多様化、シェアリングサービスの普及で、企業から個人への送金機会が増えているなか、簡単に送金したい、いつでも受取りたいというニーズに応え、「現金受取サービス」を開始しました。



人手不足による在日外国人労働者の増加

▶ 海外送金サービス

セブン銀行では、海外にご家族や知人がいるお客さまのニーズに応えるため、「海外送金サービス」を提供しています。全国に設置されているセブン銀行ATMのほか、パソコン・スマートフォンなどを通じて約200カ国へ原則24時間365日ご利用が可能です。また、在日外国人向けに地方公共団体と連携した取組みを行い、「海外送金アプリ」を通じて、地域情報、災害情報などを多言語で発信し、多文化共生社会への貢献に努めています。



訪日外国人の増加

▶ 海外発行カードによる日本円の引出し

セブン銀行では、海外で発行されたキャッシュカード、クレジットカードで日本円を引出すサービスを提供しています。訪日外国人がATMをスムーズにご利用いただけるよう、画面表示、明細票などは12言語に対応、安心・安全なサービスを提供し、政府が推し進める観光立国の実現に貢献していきます。



大都市圏への集中、地方の空洞化

▶ 社会インフラを担う企業としての責任

金融サービス拠点の空洞化などに伴って、不便を感じる方が増加しています。セブン&アイグループ各社の店舗ネットワークに加え、グループ外においても交通・流通・観光の各拠点へのATM設置を推進しています。物理的な近さだけではなく、心理的にも「近くて便利」な金融サービスの提供を目指していきます。



気候変動リスクの増加

▶ 環境性能を高めたセブン銀行第3世代ATM

第3世代ATMは、長寿命部品やリサイクル可能な素材を使用するほか、従来と比較して1台当たりの消費電力量を約48%削減するなど環境性能に優れています。また、ATMの安定稼働と運用の効率化を実現することで現金輸送車のCO₂排出量を削減するなど、環境を意識した事業活動を行っています。

重点課題の整理・特定

セブン銀行は、当社を取り巻く環境変化への対応やさまざまな社会課題の解決を通じ、社会との共通価値を創造すべく、重点課題の整理・特定に向け、社内外での議論を活性化しております。

価値協創

セブン銀行が大切にしている価値観は、事業を通じて、「社会課題解決への貢献」と「価値協創」に対して「誠実」かつ「真面目」に取り組み、「社会の期待と信頼」に応えていくことです。私たちは、より良い社会の創造とともに、企業価値の向上を目指しています。

セブン銀行のコア・コンピタンスとビジネスモデル

競争優位の源泉となる経営資源・無形資産

主要な経営資源

- ▶ **ATMプラットフォーム**
 - 全国24,000台以上のATMネットワーク
 - 24時間365日止まらないATMを実現するシステム・体制
- ▶ **提携金融機関等とのネットワーク**
- ▶ **セブン&アイグループ各店舗へ来店されるお客さま・店舗ネットワーク**
- ▶ **銀行としての金融サービス提供機能**

主要な無形資産

- ▶ **さまざまなパートナー企業との強い信頼関係**
- ▶ **セブン&アイグループとのシナジー**
- ▶ **銀行としての信用力**
- ▶ **チャレンジしやすい企業風土・組織**

セブン銀行のビジネスモデル



- ▶ **いつでも、どこでも、だれでも、安心してご利用いただけるATMサービス**
- ▶ **安全かつ効率的な決済インフラ**

社会課題を
事業機会として捉える

デジタル決済の広がり

決済セキュリティの確保

少子高齢化

働き方の多様化

人手不足による
在日外国人労働者の増加

訪日外国人の増加

大都市圏への集中、
地方の空洞化

気候変動リスクの増加

提供価値

いつでも、どこでも、だれでも、
安心してご利用いただける
ATMサービスの深化

+

- ▶ 社会の変化に対応した
新たなATMサービスを提供
- ▶ 日本で生活されるすべての、
方々により安心・安全な
金融サービスを提供

金融システムの安定と発展

事業活動を通じ
社会課題の解決と
企業の成長を両立させ、
共通価値を創造

あまねく
地域社会の
利便性を追求

私たちが目指すサービスは、世界に類を見ない多彩な業態を有する総合流通グループの強みを活かした、これまでにない身近で便利なサービスです。セブン&アイというブランドを明確に打ち出し、世の中に必要とされる新しい便利さを提供していきます。

社会の変化に対応した 金融サービスを提供

スマートフォンの普及、新しい決済サービスの登場、
お客さまのライフスタイルの変化など、当社を取り巻く事業環境は変化しています。
こうした環境変化をふまえ、現金受取サービス、資金移動業者との提携、
スマホATMサービスを推進しています。



銀行口座を介さない「現金受取サービス」を開始

eコマースの普及やシェアリングエコノミーの広がりなどによって、企業から個人への送金機会が増えているなか、2018年5月に「現金受取サービス」を開始しました。お客さまは企業から電子メールなどで送付される番号をセブン銀行ATMで入力するだけで、いつでも現金を受取ることができます。また、銀行口座を介さないため、企業はお客さまの口座情報の収集・管理が不要となるなど、企業とお客さま、双方の利便性が格段に高まるサービスです。本サービス開始に向け、2018年1月に子会社「株式会社セブン・ペイメントサービス」を設立しました。多くのお客さまにご利用いただけるよう、サービス契約企業の開拓を進めるとともに、便利で使いやすいサービスの提供に努めてまいります。



その他、ATMにてお手持ちのnanacoへチャージまたはセブン-イレブン記念財団への募金を選択できます。

新しい決済分野を切り拓く提携先

より多くのお客さまにご利用いただくため、新たな取組みとして金融機関以外の資金移動業者などとの新規提携を進めています。2017年8月からはソフトバンク・ペイメント・サービス株式会社と、同年10月からはLINE Pay株式会社と、2018年3月からは、株式会社ジェーシービーが展開するJCBプレモカードとのATM利用提携を開始しました。これにより、当社ATMでの「ソフトバンクカード」*1や「LINE Pay」*2「JCBプレモカード」*3へのチャージ(入金)が可能となりました。

*1 ソフトバンク・ペイメント・サービス株式会社が発行するプリペイドカード。
*2 コミュニケーションアプリ「LINE」を通じて提供されるモバイル送金・決済サービス。
*3 JCB PREMO加盟店で利用できるプリペイドカード。



LINE Payとの提携セレモニー



「スマホATMサービス」の推進

「スマホATMサービス」とは、対応するアプリを使ってATMに表示されるQRコードを読み取ることで、カードを使わずにスマートフォンのみで入出金取り引きができるサービスです。今後は既存の提携先だけではなく、カードを発行していない決済事業者や、スマートフォンによる決済サービスを展開している事業者の方々にもセブン銀行ATMをご活用いただけるよう、本サービス提供先のさらなる拡大に取り組んでまいります。

外国人のお客さまに安心・安全な金融サービスを提供

年々増加する外国人のお客さまにも、安心・安全なサービスをお届けできるよう、海外送金サービスや海外発行カードで日本円を引出すサービスを提供しています。セブン銀行は社会課題の解決に向け、ESG*の観点も取り入れながら、お客さまが求めるサービスの実現に努めています。

※Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)



海外にご家族や知人がいるお客さまに海外送金サービスを提供

セブン銀行では、海外にご家族や知人がいるお客さまのニーズに応えるため、海外送金サービスを提供しています。全国に設置されているセブン銀行ATMのほか、パソコン・スマートフォンなどを通じてシンプルな手数料体系で原則24時間365日ご利用が可能です。ATM取引画面およびお客さま窓口となるカスタマーセンターは9言語に対応しており、外国人のお客さまも安心してご利用いただけます。海外送金サービスをより便利にお使いいただくため、送金レートの確認や、送金手段に関する動画の閲覧、世界各国の受取拠点の検索などができる「海外送金アプリ」を提供しています。

多文化共生、観光推進への取組み

国内に居住する外国人の豊かな生活と地域社会における多文化共生の推進を目的として、「海外送金アプリ」をご利用のお客さま向けに、地域情報、災害情報などを多言語で発信しています。2016年より、在日外国人が多く暮らす地方公共団体と協定を締結し、地域社会における多文化共生の推進に努めています。また、訪日外国人観光客のお客さま向けに観光情報の発信なども行っています。



新宿区との締結式

海外発行カードで日本円の引出しが可能

セブン銀行ATMでは、海外で発行されたキャッシュカード、クレジットカードで日本円を引出すサービスも提供しています。対応カードは、VISA(PLUSを含む)、Mastercard(MaestroとCirrusを含む)、UnionPay(銀聯)、American Express、JCB、Discover、Diners Clubとなり、主要なブランドのほぼすべてに対応しています。2017年度の海外発行カード利用件数は856万件と着実に増加しています。訪日外国人のお客さまが利用しやすいように、グループ各店舗や人々が集まる交通・流通・観光の各拠点を中心としたグループ外へのATM設置も推進しています。

海外発行カード利用件数(千件)



SEVEN-BANK ATM

トップクラスの財務基盤

自己資本比率

50.78%

[国内基準]

高い信用力

スタンダード&プアーズ(S&P)
グローバル・レーティング

A+

キャッシュ創出力

EBITDAマージン

43.4%

※EBITDA=経常利益+減価償却費
EBITDAマージン=EBITDA:経常収益

効率的な資本マネジメント

ROE

12.3%

※ROE=当期純利益÷自己資本平均残高

格付投資情報センター(R&I)

AA

株主還元

配当性向

47.0%

高い成長性

1株当たり純利益(EPS)

16.27
円

2012年度

21.24
円

2017年度

経常収益

949
億円

2012年度

1,276
億円

2017年度

経常利益

318
億円

2012年度

383
億円

2017年度

親会社株主に帰属する
当期純利益

193
億円

2012年度

253
億円

2017年度

持続可能な環境性能の追求(国内)

第3世代ATMの消費電力
[約1,200kWh/年]

48%削減

※第2世代ATM比

廃棄したATMおよび
UPSバッテリーのリサイクル率

約100%

※UPS:無停電電源装置